

平成25年2月14日  
東海旅客鉄道株式会社

## 東海道新幹線 名古屋駅ホームへの可動柵設置について

平成24年3月に東海道・山陽新幹線から300系車両が引退して扉位置がほぼ統一されたこと、また、新しい可動柵を技術開発したことから、ホーム上の安全性をさらに向上させるために、新幹線ホームへの可動柵の設置を進めています。

今般、下記のとおり設置計画がまとまりましたのでお知らせいたします。

### 1. 可動柵設置計画の概要

#### (1) 今回計画の対象駅・番線

名古屋駅 14～17番線（全4線）

#### (2) 工事スケジュール

平成25年2月 : 工事着手  
平成29年3月まで : 順次供用開始

#### (3) 工事費

約14億円

### 2. 今後の可動柵設置計画

- お客様のご利用の多いのぞみ停車駅を対象に設置を検討しており、次のステップとして京都駅への設置を検討しています。詳細なスケジュールや工事費等は、計画がまとまり次第、改めてお知らせいたします。

#### 〔参考〕現在の可動柵設置工事の状況

##### (1) 既設の箇所

品川駅（21・24番線）、新横浜駅（2・3番線）、熱海駅（6・7番線）

##### (2) 東京駅

3月16日より、14番線で新しい可動柵の供用を開始します。

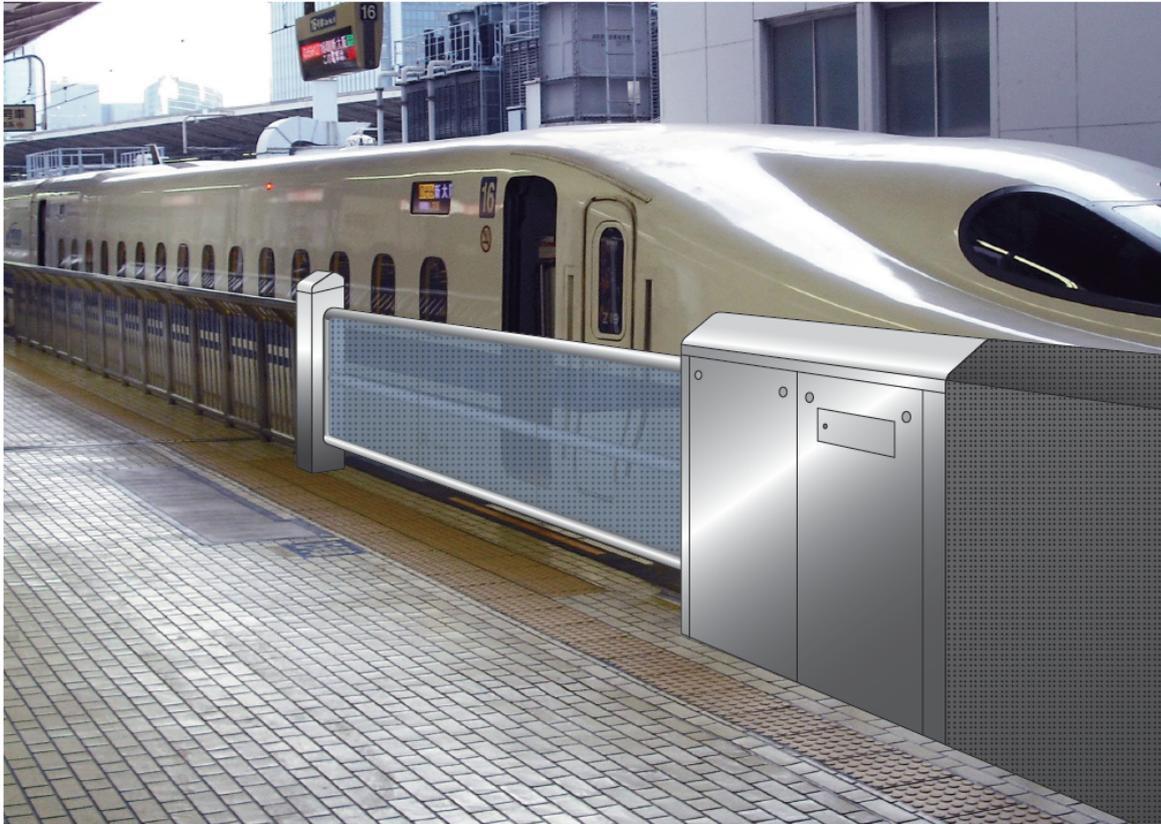
（14番線の完成後、15～19番線への設置工事を進め、順次供用を開始）

##### (3) 新大阪駅

3月16日より、27番線で新しい可動柵の供用を開始します。

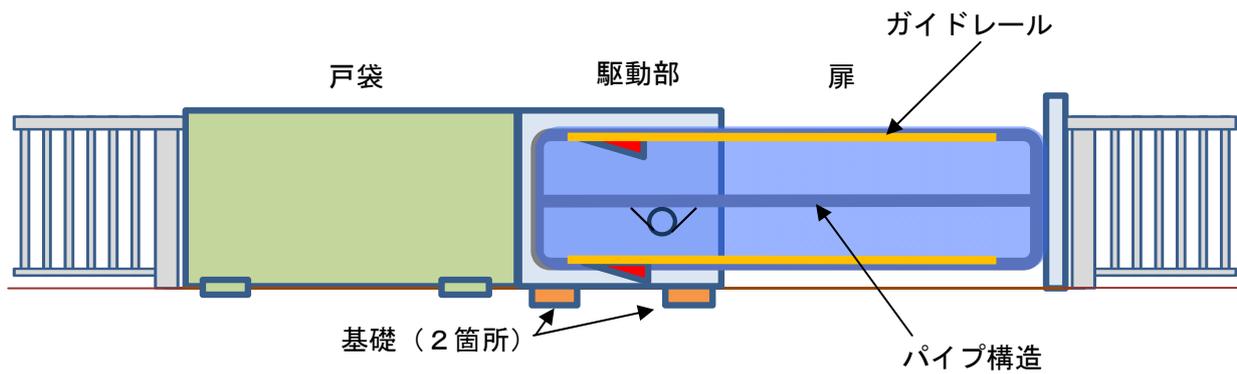
別紙1 各駅に設置する新型可動柵の設置イメージ (参考：平成23年9月29日発表済)

○新型可動柵設置イメージ



○従来型可動柵と新型可動柵の構造

新型可動柵



従来型可動柵

